

～ 交通アクセス ～

【電車】

- JR 広島駅(山陽本線)方面から
広島電鉄 2系統宮島線 約12分 紙屋町東下車
徒歩 約7分
- JR 横川駅(山陽本線)方面から
広島電鉄 7系統 約13分 紙屋町西下車
徒歩 約9分

【バス】

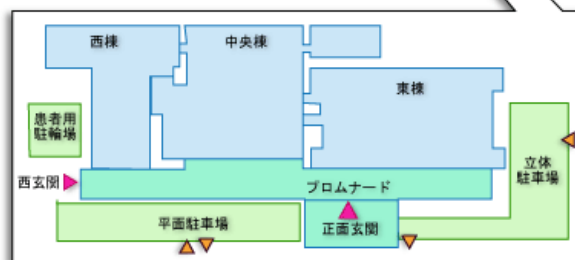
- バスセンター下車 徒歩 約7分

【アストラム】

- 県庁前下車 地下道より直通

【飛行機】

- 広島空港→バスセンターまでバスで約50分位



地方独立行政法人広島市立病院機構

広島市立広島市民病院

乳腺外科

のご案内

当院は、**基幹型・外科専門研修プログラム**の基幹施設です。

	基幹型専門研修プログラム名等	期間
基幹施設	広島市民病院群外科専門研修プログラム	3年
連携施設	庄原赤十字病院・広島市立舟入市民病院 広島通信病院・川崎医科大学付属病院	

20200601



最高の仲間と、最高の場所で、最高の研修を!



地方独立行政法人 広島市立病院機構
広島市立広島市民病院
Hiroshima City Hiroshima Citizens Hospital

広島市立広島市民病院

〒730-8518

広島県広島市中区基町7番33号

電話番号: 082-221-2291(代表)

FAX 番号: 082-223-5514(代表)

<http://www.city-hosp.naka.hiroshima.jp/>

《病院見学等問合せ先》

事務室総務課人事係(研修管理委員会) 有馬・長谷川・児玉

E-mail: hiro-kensyu@hcho.jp

乳腺外科志望のみなさんへ



乳腺外科主任部長 伊藤光矢(H11卒)

あなたは乳癌に興味がありますか？

もし乳癌診療に興味があれば……、現在の当科は超おすすです!!
研修医制度をはじめ、医療の現場はメンバーや医療環境により刻々と変化しますが、今現時点では、われわれのチームは後期研修施設としては最高の状態だと自負しています。

乳癌診療に興味がある方、是非一緒に学び働きましょう!!<当科の特徴>

① 少数精鋭? (悪く言えばただの人手不足ですが…)

現在、当院乳腺外科はスタッフ4名、後期研修医2名の医師で治療を行っております。症例数と医師の比率では、1人あたりの経験症例は全国的にも1、2を争う状況です。正直、超~忙しいです!!
しかし!!後期研修ならば忙しくてナンボ!!乳癌に関わってナンボ!!です。
今いかに多くの乳癌症例に関わるか!!これこそが今後のあなたの乳癌診療の大きな糧になるとわれわれは信じています。

② 「最先端の半歩あと…」 (前主任部長語録より)

日本をはじめ世界的な乳癌学会へ積極的に参加し、多くの治験や臨床試験に関わり、最新の医療情報に基づいた診療をスタッフ一同心がけています。忙しい日常診療ではありますが、おどろきな治療をする事無く、術前から術後まで全例を病理医や放射線科医とも積極的にカンファレンスを行い、スタッフ全員で検討し、治療方針を決定しています。このスタッフ全員での診療体制が、後期研修医のレベルアップには非常に大きなメリットになるのではと考えています。

③ 雰囲気最高? (私見ですが…)

超多忙な当施設ですが、雰囲気が最高です。忙しい上に雰囲気が…なんて事はどこの世界にも良くある事ですが、主任部長の大谷の人間力により、非常に風通しの良い雰囲気、頑張り人達を全力で応援できる姿勢だと実感しています。(どのように感じるかは人それぞれなので…私見です。嘘だったらごめんなさい。) とにもかくにも、頑張る人が大好きなわれわれです。

研修目標

乳腺外科は画像診断から始まり、手術、乳房再建術、化学療法、ホルモン療法、分子標的治療、放射線治療、緩和医療まで多くの分野があり、様々な他科、診療部門と協力して検査から治療まで一貫した患者管理を行います。乳腺外科のプログラムでは乳癌疾患の診断治療に対する知識、技量に加え医師としての良好な人格を兼ね備えることを目標とします。それらの治療経験を積むことによって日本乳癌学会 乳癌認定医および乳癌専門医の取得を目的とした研修を行います。

研修内容

初期研修終了後の医師に対し、乳腺外科を主軸として、まず日本外科学会専門医取得のため、外科、呼吸器外科、小児外科、心臓血管外科、救急部と連携協力し、日本外科学会の定める到達目標の最低症例数ならびに350例以上の術者助手の経験を目標とします。

乳癌疾患については100例以上の術者、200例以上の助手の経験と日本外科学会専門医取得後の日本乳癌学会 乳癌認定医、乳癌専門医の取得はも

とより、検診マンモグラフィー読影認定医、乳癌超音波検査認定医取得、についても指導を行います。

当科のうり

- ① 全国 TOP10 以内の豊富な症例数(550 例以上)を少数精鋭(スタッフ 4 名 後期研修医 1 名)で診察しているので、あなた(たとえ未経験者でも)の加入は即戦力として、豊富な症例数を診断から治療まで一貫して経験できます。1 年間在籍していただければ、原発性乳癌執刀例は 100 例に達します。つまり乳癌認定医、乳癌専門医を最短で取得できます。
- ② 学術活動も活発で年間 30 以上の発表を行っています。海外発表も年 1 回がノルマになっています。ザンクトガレン乳癌カンファレンスや、サンアントニオ乳癌シンポジウムに当科から accept されています。目指すは「広島から世界へ情報発信を」を標語に皆で頑張っております。是非、あなたの力を世界で試してください。
- ③ 臨床試験、臨床治験への積極的な参加によって日本では使用できない新薬などの世界共同治験にも参加しており、世界最先端の治療を肌身で感じていただけます。また当科にはがん薬物療法専門医を取得した乳腺外科医もあり、手術は当然ですが、薬物療法にも特化した研修が可能です。
- ④ 当科は将来、センター化を目指しており、外科をはじめとして放射線科、放射線治療部、腫瘍内科、形成外科、脳神経外科、産婦人科、薬剤部、看護部、緩和ケアチームなどと連携協力し「一人の患者さんとご家族の満足」を目標にチーム医療を推進しています。
- ⑤ カンファレンスの充実も目標としており、現在 朝7時半から 1 時間、月・金曜日には外科合同カンファレンス、第一火曜日には病理部、放射線科との術後カンファレンス、それ以外の火曜日には抄読会と術後カンファレンス、再発カンファレンスを、木曜日には術前カンファレンスを行っています。また、水曜日の 17 時からはマンモトームカンファレンスも行い、皆で適応症例について検討しています。このカンファレンスの準備をするだけであなたもすぐにプロフェッショナルな乳腺外科医に早変わりです。ただし quality も高いため、相当の準備が必要です。歯を食いしばってついてきてください。

概要

医師数	常勤 4 名・非常勤 1 名
病床数	8 床+2 床(一泊の間借りですが・・・)
外来患者数	平均 73 名/日
化学療法数(2015 年)	延べ 5210 件
放射線治療数(2015 年)	238 例

検査件数 (2017 年)

マンモグラフィー	1673 例
乳腺超音波	1850 例
ステレオガイド下マンモトーム生検	85 例
超音波ガイド下組織診(VACORA)	485 例

手術件数 (2017 年)

原発性乳癌	556 例
乳房温存手術	333 例(温存率:60.4%)
センチネルリンパ節生検	485 例
乳房同時再建術	83 例
ラジオ波焼灼術	13 例
良性腫瘍	55 例
全身麻酔下手術	420 例
局所麻酔下手術	136 例

学会発表

学術活動も活発で年間 30 以上の発表を行っています。海外発表も年 1 回がノルマになっています。ザンクトガレン乳癌カンファレンスや、サンアントニオ乳癌シンポジウムにも当科から accept されています。目指すは「広島から世界へ情報発信を」を標語に皆で頑張っております。

是非、あなたの力を世界で試してください。

“第 47 回広島乳癌疾患研究会(広島)”

“第 117 回日本外科学会学術総会(横浜)”

“第 42 回日本外科系連合学会(徳島)”

“第 25 回日本乳癌学会学術総会(福岡)”

“第 14 回日本乳癌学会中国四国地方会(岡山)”

“第 111 回広島がん治療研究会(広島)”

“第 70 回広島医学会総会(広島)”

“第 79 回日本臨床外科学会総会(東京)”

後期研修後進路

現在当科を卒業した医師はまだ 2 名だけですが、岡山大学大学院へ進学されました。当院で後期研修を行い、臨床にどっぷり浸かった後は、自ずと Oncology についてもっと深く知りたくなります。もちろん当院にてスタッフとして働き続けるのも大歓迎ですが、その他卒後の進路は、大学院へ進学したり、がんセンターなどの施設で臨床研究を行うなど、全て自由です。できうる限り協力致します。